



## 東京PCB廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での平成26年7月～9月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	7月～9月 処理台数	操業開始からの 処理台数の累計
トランス類	71台	2,568台
コンデンサ類	1,675台	31,582台

\* 連結コンデンサは内部に含まれる台数でカウントしています。

\* 低濃度PCB廃棄物については平成25年6月に処理を完了いたしました。

## 東京PCB廃棄物処理事業環境安全委員会が開催されました。

平成26年10月7日、江東区東陽町にて第32回環境安全委員会（委員長：中杉修身 元上智大学大学院教授）が開催されました。

議題1として、平成26年度上半期の施設稼働状況や環境モニタリングの結果、運転時トラブルの状況、運転及び設備の対策・改善、安全衛生管理活動等について報告しました。

運転時トラブルの状況では、①6月に水熱酸化分解後の処理液PCB濃度が自主管理目標値（0.0015ppm）まで下がらず長期間再処理を繰り返したこと、②7月に水熱酸化分解設備の再生熱交換器出口連絡管から蒸気漏れが発生したこと、および③7月にコンデンサ予備洗浄系統の排気系統にセーフティネットとして設置している活性炭吸着槽入口部のPCB濃度オンラインモニタリング値が環境保全協定値（0.01mg/Nm<sup>3</sup>）を超える警報を発したこと、の3件を報告しました。いずれも外部環境への影響はなく、また、当該設備について必要な補修及び再発防止対策を講じましたが、水熱酸化分解設備の蒸気漏れにつきましては、今後も原因の究明と対策を継続し、安全・安定操業に努めてまいります。

議題2として、廃粉末活性炭処理設備の設置について、

議題3として、東京事業所の長期保全計画に係る基本的な考え方を報告しました。

委員からは、トラブルが頻発したことについて、技術的な委員会である事業部会で原因究明等の意見を伺うことも必要、などのご意見がありました。

いただいた貴重なご意見・ご助言等を施設の運営・管理に反映し、引続き安全・確実な処理を行なってまいります。



環境安全委員会の様子

## PCB収集運搬業者安全協議会総会・連絡会が開催されました。

平成26年9月26日、当事業所が入門許可を出しているPCB収集運搬業者で構成される「PCB収集運搬業者安全協議会」（会長会社：首都圏日立物流サービス株式会社）の第7回総会が開催されました。当日はPCB収集運搬業者27社、32名の方々に参加されました。

会議では、収集運搬時事故の際の緊急連絡体制の改訂と確認等が行われました。

総会終了後、同収集運搬業者と東京事業所との間で「東京PCB廃棄物処理施設収集運搬業者連絡会」を開催し、下記の事項を報告して必要な情報共有を図りました。

- ①微量PCB助成金について（東京都環境公社から）
- ②基本計画の改訂について
- ③エリア間移動対象物の収集運搬を行う際の要件等について
- ④H26年度下期からの3県少量保管者説明会の実施について
- ⑤収集運搬不適合事例、漏洩機器の補修、ヒヤリハット事例等について
- ⑥緊急連絡体制の変更について
- ⑦入門許可の更新・変更手続き等について
- ⑧環境ISOの取り組みについて

特に、国の基本計画の改訂により、当社の5事業所の長所・処理能力を相互に活用すること、東京エリアの安定器等の処理については北海道事業所を活用することなどを収集運搬業者に説明しました。また、漏洩機器の補修方法やヒヤリハットの事例を紹介し、安全運搬のための注意喚起を行いました。

## 防災訓練（休日・夜間想定）の実施

平成26年10月8日、今年度第1回夜間・休日の防災訓練を行いました。

漏洩発見通報に始まり、現状の把握・通報、自衛防災組織体制の発動、初動活動（漏洩拡散防止・回収、初期消火、消火設備操作等）、公設消防対応等に至るまで、役割分担等の確認を行いながら混乱なく実行されました。夜間・休日の防災訓練は、今回は漏洩想定で行いましたが、火災想定も含め、今年度中にあと3回行う予定です。



防災訓練の様子（中央制御室）

## 救命講習会の実施



救命講習会の様子

平成26年10月17日、臨港消防署職員を講師として救命講習会を開催し、16名が受講しました。

心肺蘇生の胸骨圧迫・人工呼吸およびAEDによる除細動の重要性を再認識し、人形を使っての実地訓練を行いました。また、気道異物除去法や応急手当についての講義も受けました。

緊急事態に遭遇した場合を想定して、適切な応急手当のための知識と技術を習得する有意義な講習会となりました。

## 上半期の見学状況

上半期については、保管事業者、官公庁、学校等、38団体（海外を含む）、合計341人の方々にお越しいただきました。

海外からの研修コースに組み入れられることも増えてきており、PCB廃棄物処理施設・技術への関心の高さが伺えます。

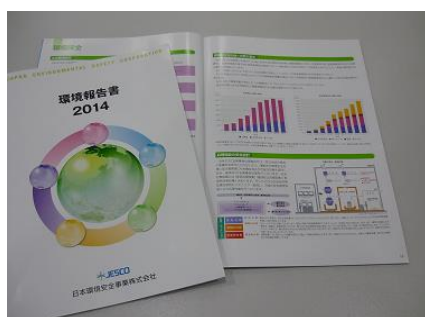
	4月～6月	7月～9月	上半期計
団体数	16件	22件	38件
見学者数	136名	205名	341名

見学を希望される場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。



外務省ロシア技術支援研修の皆様

## 環境報告書2014を発行しました。



環境報告書 2014

平成25年4月1日～平成26年3月31日の当社の事業活動に係わる環境配慮の取組みをまとめた『環境報告書2014』を9月に発行しました。

この報告書は「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律」に準拠して、当社の環境と安全に対する取組みを積極的に開示するために毎年発行しているものです。また、環境保全に加えてPCB廃棄物の処理実績、労働安全衛生、保安防災、従業員教育、地域とのコミュニケーション、ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会等の取組みについても記載しています。発行に当たっては第三者審査を実施し、開示情報の信頼性を高めています。

「環境報告書2014」は当社のHPに掲載しておりますのでご覧ください。



日本環境安全事業株式会社 東京事業所  
〒135-0064 江東区青海三丁目地先（中央防波堤内側埋立地内）  
Tel.03-3599-6023  
<http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>